食品産業動向調査結果

- 1 食品産業の景況について
- 2 今後の経営発展に向け取り組みたい課題等について
- 3 輸出の取組みについて
- 4 農林水産物の利用・調達について

調査要領

調査時点 令和7年7月

調査方法 調査票による郵送調査とインターネット調査を併用

調査対象企業

公庫取引先を含む全国の食品関係企業(※) 6,822社

有効回収数 2,325社 (回収率:34.1%)

〈内訳〉 食品製造業 1,465社

食品卸売業 605社

食品小売業 191社

飲食業 64社

(※) 以降、本資料においては、「食品製造業」を「製造業」、「食品卸売業」を「卸売業」、 「食品小売業」を「小売業」として表記。

景況判断のため、アンケート結果からDI値を算出。

DI(Diffusion Index = 動向指数)とは、「増加する(良くなる)」と回答した企業の割合から「減少する(悪くなる)」と回答した企業の割合を差し引いた数値。

詳しい調査結果を当公庫ホームページ(https://www.jfc.go.jp/)に 掲載しています。トップページから「刊行物・調査結果」 \rightarrow 「農林水産事業」 \rightarrow 「食品産業動向調査」の順でご覧いただくか、右の2次元コードでもアク セス可能です。(通信料はお客様のご負担となります)



<調査に関するお問い合わせ> 日本政策金融公庫 農林水産事業本部 情報企画部 TEL 03-3270-5585

注:図表において、四捨五入の関係上、合計が一致しない場合があります。

令和7年10月



日本政策金融公庫

農林水産事業

この冊子に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。



1 食品産業の景況について

景況DI (景況DIは、売上高DI、経常利益DI、資金繰りDIを単純平均して算出)

【令和7年上半期実績】

・景況DI(食品産業)は、前回(令和6年下半期)から4.2ポイント低下して▲6.0となり、前回に引き続きマイナス値となった。

【令和7年下半期見通し】

・景況DI(食品産業)は、令和7年上半期から1.3ポイント上昇して▲4.7となり、引き続きマイナス値で推移する見通し。

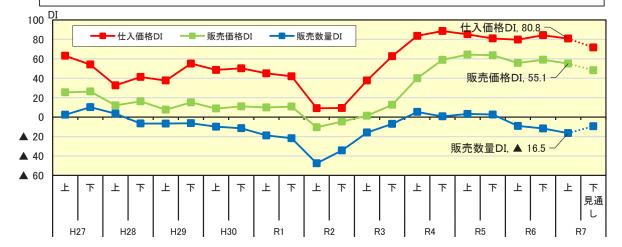


()は前回との差

|仕入価格DI・販売価格DI・販売数量DI(「増加・上昇」の割合から「減少・低下」の割合を引いた値)

【令和7年上半期実績】

- ・仕入価格DIは、前回(令和6年下半期)から3.5ポイント低下し、80.8となった。
- ・販売価格DIは、前回(令和6年下半期)から3.9ポイント低下し、55.1となった。
- ・販売数量DIは、前回(令和6年下半期)から4.8ポイント低下し、▲16.5となった。 【令和7年下半期見通し】
- ・仕入価格DIは、令和7年上半期から9.1ポイント低下し、71.7となる見通し。
- ・販売価格DIは、令和7年上半期から6.9ポイント低下し、48.2となる見通し。
- ・販売数量DIは、令和7年上半期から7.1ポイント上昇し、▲9.4となる見通し。

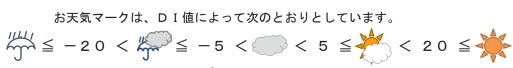


	令和2年 上半期	令和2年 下半期	令和3年 上半期	令和3年 下半期	令和4年 上半期	令和4年 下半期	令和5年 上半期	令和5年 下半期	令和6年 上半期	令和6年 下半期	令和7年 上半期	令和7年 下半期 見通し
仕入価格DI	9.1	9.3	37.7	62.7	83.6	88.6	85.2	80.9	79.7	84.3	80.8(-3.5)	71.7(-9.1)
販売価格DI	▲ 10.5	▲ 4.6	1.4	12.6	40.0	58.9	64.3	63.6	55.7	59.0	55.1(-3.9)	48.2(-6.9)
販売数量DI	▲ 47.6	▲ 34.4	▲ 15.9	▲ 7.0	5.3	0.7	3.2	2.6	▲ 9.1	▲ 11.7	▲ 16.5(-4.8)	▲ 9.4(+7.1)

()は前回との差

【参考】 景況DI (業種別詳細)

			況	売			利益	資金繰り		
	業種/業態	令和7年 上半期 実績	令和7年 下半期 見通し	令和7年 上半期 実績	令和7年 下半期 見通し	令和7年 上半期 実績	令和7年 下半期 見通し	令和7年 上半期 実績	令和7年 下半期 見通し	
	食 肉 加 工 品	△ 4.7	6.4	16.4	25. 5	چې ▲ 18.9	1.8	<i>Ş</i>	<i>≱</i>	
	牛 乳 · 乳 製 品		1. 2	23. 2	26. 8	# 16.0	♣ 10. 7	# 7. 2	≱ 12. 5	
	水 産 食 品	چپ ▲ 16.8	# 15. 2	4 6. 0	▲ 2.0	☆ 26.8	☆ 25. 2	<i>‡</i>	# 18.3	
	農産保存食品	<i>⊈</i> ▲ 9.5	# 15.4	7.1	# 1 0.6	# 17. 0	## A 22. 4	# 18. 6	# 13.3	
	調味料	# A 6. 6	▲ 1.9	15. 9	16.8	// ▲ 21.5	# 11. 2	# 14. 1	# ▲ 11. 2	
	糖類	▲ 8.3	4. 2	<i>≛</i> 12. 5	<i>≱</i> 12. 5	<i>≱</i> 12. 5	25. 0	0.0	0.0	
製	精 榖 • 製 粉	10.3	▲ 4.8	40. 4	2. 4	2. 4	<i>‡</i>	<i>₩</i> 11. 9	△ 4.7	
造	パ ン	3. 0	# A 9.1	27. 3	0.0	#, ▲ 9.1	# 4 9.1	#, ▲ 9.1	# ▲ 18. 2	
温	菓 子	△ 3.9	0.7	15. 2	20. 0	<i>♣</i> 16. 7	# ▲ 8.1	♣ 10. 3	<i>≱</i> 9.8	
業	油脂	\$\frac{\pi_{\pi}}{\pi}\$ ▲ 33.3	△ 33. 3	☆ 33. 3	33.3 3	☆ 44.5	∯44. 4 ▲	→ 22. 2	∜ ▲ 22. 2	
	め ん 類	▲ 3. 2	2. 5	13. 2	26. 4	<i>∜</i> 7. 6	0.0	<i>‡</i> 15. 1	<i>Ş</i> → 18. 9	
	冷 凍 食 品	2. 3	24. 9	13. 6	37. 3	#, ▲ 5. 1	32. 2	▲ 1.7	5. 1	
	炊飯・そう菜	▲ 0.9	▲ 1.0	27. 0	21.9	△ 20. 3	<i>‡</i>	# A 9.4	<i>‡</i> , 10. 9	
	飲料	▲ /.4	1.8	5. 6	13.5	# ▲ 19.5	# 5.4	# A 8.3	△ 2. 7	
	酒類	<i>⇔</i> 26. 6	☆ 20. 7	<i>‡</i> , 13. 5	# 6 . 7	# 40 . 5	# △ 23. 4	☆ 25.8	// ▲ 32.1	
	そ の 他	▲ 3. 2	8. 1	18. 0	25. 0	# 15.8	2. 7	<i>‡</i>	△ 3. 3	
(製造業)) ①	♣ 8.5	△ 3. 9	9.1	11.5	△ 20. 4	# ▲ 10.5	<i>⊈</i> 14. 2	<i>‡</i> 12. 8	
	各 種 商 品	0.0	▲ 3. 2	21. 3	11.2	# 16.4	<i>‡</i> 12. 9	△ 4. 9	# A 8.0	
	穀類 • 豆類	42. /	3.7	62. 5	23. 4	56. 2	△ 3. 1	9. 4	<i>≱</i> 9. 3	
卸	青 果 物	▲ 5.4	# 15. 7	2. 2	# 14. 5	# 11.3	学 ▲ 21.1	<i>‡</i> , 7. 0	<i>Ş</i> → 11. 4	
売	食肉	▲ 10.5	▲ 4.8	7. 2	15.7	→ 30.0	☆ 20.0	# A 8.6	# 10.0	
業	生 鮮 魚 介	▲ 19.0	<u>↓</u> 14. 6	♣ 19.0	♣ 8.9	☆ 28.0	→ 20.8	♣ 10.0	♣ 14.0	
	その他生鮮品	40.6	☆ 21.9	% 52.9	♣ 17. 2	☆ 45. 5	♣ 22. 9	☆ 23.5	% ▲ 25.7	
	その他飲食品	6. 7	2. 8	25. 0	14.3	1.2	2. 4	♣ 6. 0	♣ 8.3	
(卸売業	1	€ 2. 9	▲ 8.6	7.7	0.5	♣ 9.8	<u>↓</u> 14. 9	▲ 6.5	# ▲ 11.5	
② 関の		▲ 17.9	△ 25. 2	\$\frac{\pi}{26.1}	▲ 30.5	☆ 21.7	\$30.5	# 5.8	♣ 14. 5	
係う 業ち 者市		▲ 19. 7	▲ 18.6	<u>♣</u> 12.8	<u>≰</u> 16. 2	## ▲ 31.8	▲ 23. 2	<u>≯</u> 14. 6	▲ 16.4	
場場		2. 9	▲ 8. 7	10.0	0.0	0.0	<u>↓</u> 18. 8	▲ 1.4	▲ 7.4	
(小売業	計)③	0.0	▲ 1.4	29. 8	22. 5	▲ 19.9	<u>≯</u> 15. 1	<u>≯</u> 10. 0	♣ 11.5	
(飲食業)) 4	3. 6	5. 9	39. 1	36.5	<u>~</u> 21.9	<u>▲</u> 15. 6	▲ 6.3	▲ 3. 2	
(食品産	業計)①~④計	▲ 6.0	▲ 4.7	11.3	10. 2	<i>‡</i> 17. 6	# ▲ 12.1	<i>♯</i>	# 12. 1	



設備投資DI (「増加」の割合から「減少」の割合を引いた値)

【令和7年通年見通し】

・設備投資DIは、前年(令和6年通年見通し)より7.7ポイント低下し、10.1となったがプラス値を維持。



	平成29年7月	平成30年7月	令和元年7月	令和2年7月	令和3年7月	令和4年7月	令和5年7月	令和6年7月	令和7年7月
食品産業	9.9	8.4	6.1	▲ 11.2	4.8	7.2	19.2	17.8	10.1(-7.7)
うち製造業	10.5	9.0	7.3	▲ 12.1	5.4	7.7	21.2	19.5	10.3(-9.2)
うち卸売業	5.3	2.8	1.2	▲ 7.9	2.2	4.1	14.4	11.0	7.9(-3.1)
うち小売業	15.5	19.1	13.0	▲ 6.8	9.7	9.1	16.8	21.9	10.5(-11.4)
うち飲食業	20.0	12.8	0.0	▲ 30.6	1.1	17.9	26.4	27.9	26.6(-1.3)

()は前年との差

※7月調査における設備投資DIを「通年見通し」とする。

2 今後の経営発展に向け取り組みたい課題等について

・今後の経営発展に向け取り組みたい課題は、製造業では「商品・生産物の見直し、開発」と回答した割合が最も高く、次いで「人材確保」となった。卸売業、小売業、飲食業では「人材確保」と回答した割合が最も高く、次いで「人材育成」となった。 (3つまで回答可)

		商品・生 産物の見 直し、開発	販路の多 様化	輸出促進	原料・商 品の安定 調達	原料・商 品の調達 先との連 携強化	価格転嫁	人材確保	人材育成	省力化· 省人化	設備合理 化·増強	物流の合 理化	資金繰り の安定	資本増強	その他
	令和5年7月	43.8	19.2	20.8	30.9			41.7	33.1	27.9	24.9	8.0	11.8	3.0	0.8
	令和6年1月	42.0	18.7	21.4	26.5	17.1		41.2	37.3	24.8	24.3	3.7	12.4	2.6	0.6
製 造 業	令和6年7月	44.1	18.5	21.0	27.9	14.7		36.6	36.6	27.5	24.4	4.7	12.1	2.2	0.3
	令和7年1月	45.8	17.7	18.8	29.9	13.8		38.3	35.6	30.3	24.0	4.3	13.7	2.4	0.6
	令和7年7月	40.1	17.8	18.4	28.4	12.1	32.1	37.6	29.6	25.1	20.3	4.5	13.6	2.1	0.3
	令和5年7月	32.3	24.0	13.2	32.3			45.9	37.4	17.5	12.7	28.3	13.4	4.3	0.7
	令和6年1月	30.8	20.2	11.2	27.6	28.6		44.9	40.4	14.8	12.4	12.8	17.3	3.8	1.1
卸売業	令和6年7月	28.2	20.7	11.8	28.2	26.2		39.7	40.7	18.7	10.5	18.9	14.8	2.0	0.5
	令和7年1月	27.5	21.1	10.7	32.3	22.2		48.0	37.9	17.6	13.3	16.6	16.8	2.4	0.4
	令和7年7月	24.5	19.7	10.3	31.7	21.4	28.2	44.1	38.6	15.9	10.1	16.1	14.6	1.8	0.3
	令和5年7月	47.4	19.5	5.1	23.7			50.2	50.2	27.0	18.1	14.4	10.7	4.7	0.9
	令和6年1月	35.0	15.8	4.0	16.9	14.7		49.2	54.2	28.2	19.2	8.5	14.1	5.1	1.7
小 売 業	令和6年7月	40.0	14.5	3.0	17.5	15.0		49.0	55.5	34.5	20.5	7.5	7.5	6.5	1.0
	令和7年1月	40.9	16.7	4.3	18.3	14.5		51.6	48.4	38.2	19.4	11.3	11.3	4.3	0.5
	令和7年7月	37.7	10.5	3.7	25.1	12.0	23.0	50.8	47.6	33.0	18.3	7.3	11.0	4.2	0.5
	令和5年7月	41.7	30.6	5.6	27.8			76. <mark>4</mark>	45.8	20.8	12.5	2.8	9.7	1.4	1.4
飲食業	令和6年1月	35.8	25.4	3.0	23.9	11.9		73 <mark>.1</mark>	52.2	32.8	10.4	1.5	10.4	1.5	0.0
	令和6年7月	35.3	26.5	2.9	33.8	5.9		69 <mark>.1</mark>	47.1	20.6	8.8	2.9	11.8	1.5	0.0
	令和7年1月	39.3	13.1	4.9	32.8	14.8		68 <mark>.9</mark>	42.6	18.0	9.8	1.6	19.7	4.9	0.0
	令和7年7月	25.0	20.3	4.7	34.4	6.3	31.3	75. <mark>0</mark>	46.9	23.4	9.4	0.0	9.4	0.0	0.0

※「原料・商品の調達先との連携強化」の選択肢は、令和6年1月調査より設定。

※「価格転嫁」の選択肢は、令和7年7月調査より設定。

※回答した割合が高い上位2項目について、高い順に濃い色で網かけを行った。

3 輸出の取組状況について

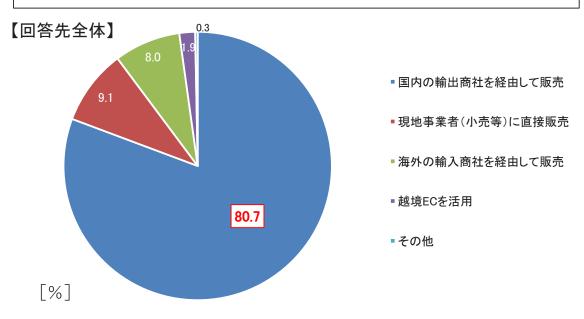
輸出の取組状況

- ・輸出の取組状況について、業種別にみると、「取り組んでいる」と回答した割合が製造業 (37.8%)では前回調査(令和6年7月)から4.0ポイント、卸売業(20.1%)では4.4ポイント 上昇した。
- ・「取り組んでいる」と「今後取り組みたい」を合わせた割合は、製造業、卸売業、飲食業で前回調査から上昇しており、回答先全体では約5割となった。



輸出の形態

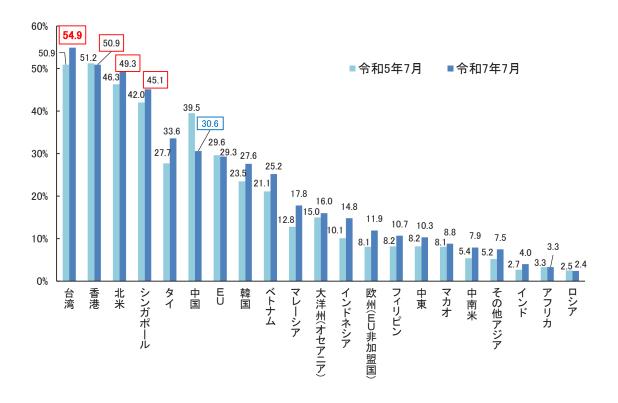
・輸出に「取り組んでいる」あるいは「今後、取り組みたい」と回答した先の主な輸出の形態は、「国内の輸出商社を経由して販売」(80.7%)が大部分を占めた。



輸出している対象国(地域)

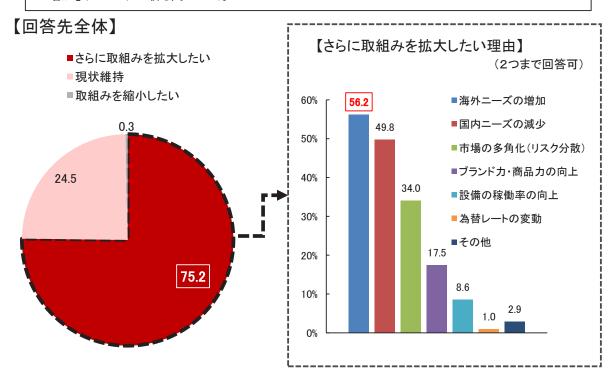
- ・輸出先の対象国(地域)は、「台湾」と回答した割合(54.9%)が最も高く、次いで「香港」(50.9%)、「北米」(49.3%)、「シンガポール」(45.1%)の順となった。
- ・また、「中国」と回答した割合(30.6%)は令和5年7月調査から8.9ポイント低下した。

(複数回答可)



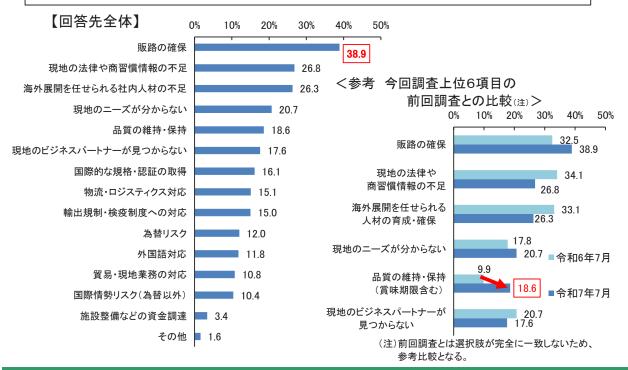
輸出の取組みに対する今後の意向

- ・輸出に「取り組んでいる」と回答した先において、輸出の取組みに対する今後の意向は、「さらに取組みを拡大したい」(75.2%)が大部分を占めた。
- ・「さらに取組みを拡大したい」と回答した先において、取組みを拡大したい理由は、「海外ニーズの増加」(56.2%)が最も高かった。



輸出に取り組む際の課題

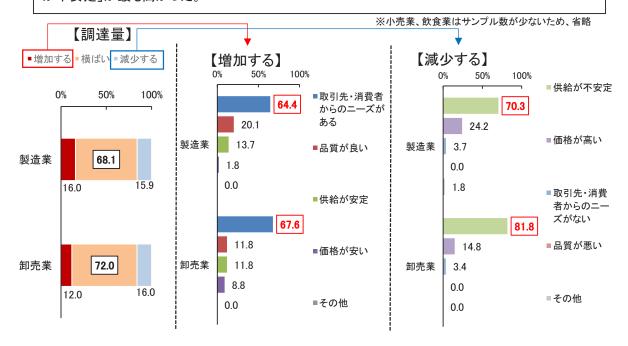
- ・輸出に「取り組んでいる」あるいは「今後、取り組みたい」と回答した先において、輸出に取り組む際の課題は、「販路の確保」と回答した割合(38.9%)が最も高かった。
- ・前回調査(令和6年7月調査)に比べ、「品質の保持・維持(賞味期限含む)」と回答した割合の 上昇幅が最も大きかった。 (3つまで回答可)



4 農林水産物の利用・調達について

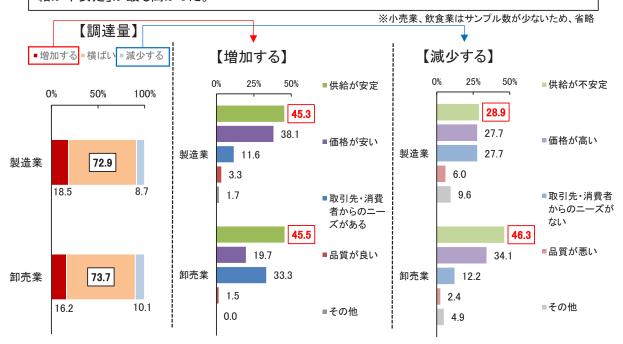
国産農林水産物の今後の調達量と増減理由

- ・国産農林水産物の今後の調達量は、製造業、卸売業ともに「横ばい」と回答した割合が約7割と 最も高かった。
- ・国産農林水産物の今後の調達量が「増加する」と回答した理由は、製造業、卸売業ともに「取引 先・消費者からのニーズがある」が最も高かった。
- ・国産農林水産物の今後の調達量が「減少する」と回答した理由は、製造業、卸売業ともに「供給が不安定」が最も高かった。



外国産農林水産物の今後の調達量と増減理由

- ・外国産農林水産物の今後の調達量は、製造業、卸売業ともに「横ばい」と回答した割合が約7割と最も高かった。
- ・外国産農林水産物の今後の調達量が「増加する」と回答した理由は、製造業、卸売業ともに「供給が安定」が最も高かった。
- ・外国産農林水産物の今後の調達量が「減少する」と回答した理由は、製造業、卸売業ともに「供給が不安定」が最も高かった。



昨今の国際情勢による外国産農林水産物の調達への影響と対応策

- ・昨今の国際情勢による外国産農林水産物の調達への影響は、「調達価格が上昇した」(64.1%)と回答した割合が最も高かった。
- ・影響への対応策は、「価格転嫁」(68.5%)と回答した割合が最も高かった。

